

□ 要請番号 (JL13925A20)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
サモア	G158 理科教育	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育文化省

2) 配属機関名 (日本語)

サモア中高等学校

3) 任地 (ウポル島アピア) JICA事務所の所在地 (ウポル島アピア)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バス+徒歩 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1953年に設立された首都にある伝統校である。生徒数約500名が在籍し、入学試験を突破した国内の成績上位者の生徒が集まる進学校。また、同校の男女ラグビーチームは国内でも強豪として知られ、文武両道を実践している。サモアの中高等学校は2月開始、12月終了で、4学期制。4年制で13歳から17歳までの生徒が在籍する。授業は日本と同様、1人の教員が特定の科目を担当し、複数の学級で指導する。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

サモアの学校教育の問題として挙げられるのが理科・算数の理解度が低いことである。教師からの一方的な指導と生徒に丸暗記させる授業手法がサモアでは多く見られ、基礎計算を十分理解しない生徒が少なくない。この過程を経て教師になるため、教授法にも課題がある上に、慢性的な教師不足となっている。これらを改善するため、JICAは2005年以降、「基礎教育理数改善プロジェクト」及び「中等理数改善プロジェクト」の実施や、その後の中高等学校への理数科隊員派遣を展開し、これまで約40名の理数科教師隊員を複数の中高等学校に派遣してきた。同校でもこれら理科・算数の課題に対処する人材を必要としており、隊員が要請されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 高学年11年生~12年生(日本の高校2年生~3年生)を対象にした物理の授業を担当する。
 - 実験を取り入れた実践的な授業を取り入れ、生徒の理解促進を支援する。
- 授業内容や学年、授業時間(週約20時間)は赴任後に配属先と相談して決定します。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、実験室、実験機材(顕微鏡、ピーカー、フラスコ、試薬等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚教師: 約50名
理科教師6名、うち物理1名含む
在籍生徒: 9~12学年、1クラス約40名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(理科))

[学歴]：(大卒) 備考：同僚が同等学歴のため

[性別]：() 備考：

[経験]：(教員経験) 3年以上 備考：配属先の要望

[汎用経験]：

- ・理科実験の経験や薬品・器具の知識

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25~35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

[配属先位置情報](#)
[教育省HP 教科書情報](#)